



病む人の立場に立って

安全でより質の高い医療を提供します



【名古屋城/重要文化財 西北隅櫓】

## 基本方針

- |                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| 1 病める人の尊厳と権利を守る医療の推進 | 4 拠点病院としての役割の強化    |
| 2 地域医療機関との連携と役割分担    | 5 研修・教育・研究の推進      |
| 3 高度医療の実践と救急医療の充実    | 6 安定した医療を提供する基盤の確立 |

## 患者さんの権利

- |                     |                         |
|---------------------|-------------------------|
| ○個人の人格を尊重した診療を受ける権利 | ○納得のいく説明を受ける権利          |
| ○信頼に基づく医療を受ける権利     | ○診療録の開示を求める権利           |
| ○個人情報保護の権利          | ○検査・治療法などの選択あるいは拒否をする権利 |
| ○診療情報提供を受ける権利       |                         |

## お願い

- |                                   |   |
|-----------------------------------|---|
| ○病気に関する正確な情報を医療者（医師・看護師等）にお伝え下さい。 | ○災害時あらゆる危険から回避するため、職員との連携にご協力をお願いいたします。 |
|-----------------------------------|---|

## もくじ

巻頭言 .....	2	医療最前線 .....	6
ドクターよもやま話 .....	3	連携医療機関紹介 .....	7
職場紹介 .....	4	外来診療担当表 .....	8
トピックス .....	5		

# 巻頭言



副院長  
奥田 聡

## 脳卒中・循環器病 対策基本法施行！



皆さんは昨年暮れの国会で「脳卒中・循環器病対策基本法」という法律が制定されたことをご存知でしょうか？正式には「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法」という長ったらしい名前の法律です。

血管が詰まったり、破れたり、流れが悪くなったりする病気を循環器病と言います。脳梗塞や脳出血、くも膜下出血といった脳卒中は脳の病気ですが、心臓からつながっている血管の病気でもありますので、循環器病の一つに分類されます。

我が国において、脳卒中、心臓病その他の循環器病はがんに次ぐ主要な死亡原因ですし、かつ介護が必要となる主な原因のひとつです(図1, 2)。また、循環器病全体で見ますとがん以上に医療費がかかっていきます(図3)。このように日本人の命と健康、国の経済にとって重大な問題となっている循環器病に対する対策を国全体でしっかり進めていこう、という目的で作られたのがこの法律です。

法律の中身を見てみますと、なんと「国民の責務」として「喫煙、食生活、運動、肥満などに注意して循環器病の予防に積極的に取り組むよう努力すること」というようなことが書かれています。つまり、喫煙のみならず、食べ過ぎ、太り過ぎも法律違反ってことになるわけです。えらいことになりました。もう一つ、自分や家族が脳卒中や心筋梗塞などを発症したときは「迅速かつ適切に対応するよう努力すること」とも書かれています。

もちろん、個人に対してだけでなく、たとえば国には循環器病対策のための政策を作るように、地方公共団体には救急の受け入れ体制をしっかりと整備するように言っていますし、医療保険関係団体には循環器病予防の啓発、知識の普及に取り組みなさい、と言っています。

つまり、この法律は「まず、循環器病をしっかり予防すること」と「万一、発症したときには日本全国どの地域においても救急治療やリハビリなど適切な医療が受けられるようにすること」を国全体で努力しなさい、と言っているわけです。

法律は制定されてから1年を目途に施行されますので、今年の12月から実行されることとなります。

さて、私たち医療者は何をすればいいのかな、と法律を読んでみますと「循環器病の予防等に寄与するよう努めるとともに、良質かつ適切な保健、医療又は福祉に係るサービスを提供するよう努めなければならない。」と書かれています。

これまでとあまり変わらないような感じもしますが、血圧管理や生活指導などを担うかかりつけ医の先生、当院のような発症時に急性期治療を行う救急病院、日常生活へ戻れるようにトレーニングを行う回復期リハビリテーション病院や生活のケアを行う施設とそれぞれの医療機関の特色を活かしながら、地域で一丸となって循環器病の患者さんを支えていくこと、これにさらに磨きをかけていくということでしょうか。これまで以上に皆さん方のご協力をいただきながら努力していきたいと思っておりますので、引き続きご支援をお願いします。

図1 日本人の主な死亡原因の経時的推移  
循環器病(心疾患・脳卒中)は現在、日本人の死因の第2位・3位を占めます。

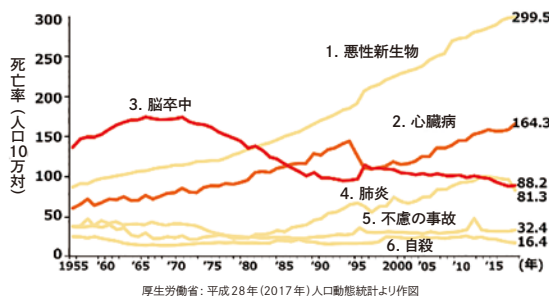


図2 日本人が寝たきりになる原因  
脳卒中は寝たきり(要介護度5)の原因の第1位です。

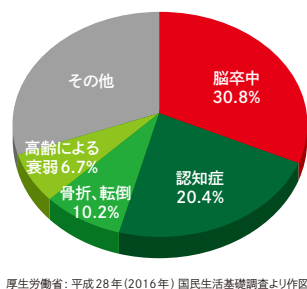
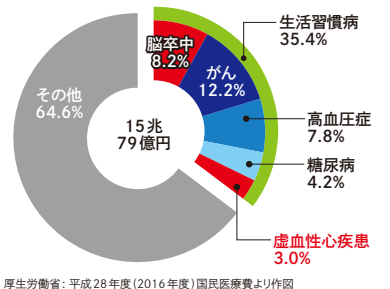


図3 70歳以上の医療費の構成割合  
脳卒中と心疾患を合わせた循環器病はがんを抜いて70歳以上の医療費の第1位となります。



図はいずれも日本脳卒中協会「STOP! NO卒中プロジェクト2019」市民啓発スライドより抜粋、一部改変



# ドクター よもやま話

## LDRについて



産婦人科  
東 真規子



皆さんはLDRという言葉をご存知ですか？ご自身やご家族が出産の経験がある方はご存知かもしれません。LDRとは特別な分娩室のことでLabor（陣痛）、Delivery（分娩）、Recovery（回復）の頭文字を取っています。通常の分娩は陣痛発来や破水で入院するとまず陣痛室で過ごします。お産が進んでくると分娩室へ移動し分娩台上がります。そして分娩後状態が落ち着いたら回復室（一般病室）に戻ります。LDRではこの陣痛室→分娩室→病室という移動をすることなく、一つの部屋ですっと過ごすことが出来るため妊婦さんの負担が軽減されリラックスして過ごして頂くことが出来ます。

当院の産科病棟にもLDRが2部屋あります。分娩数の少ない当院ですが、LDRを希望される患者さんはとても多く、LDRが空いていることは少ないです。当院ではご主人だけでなく患者さんが希望されればご両親（患者さんご本人だけでなくご主人のご両親も可）、上のお子さん（年齢制限なし）もLDRと一緒に過ごすことができ、分娩の立ち合いも可能です。一見すると綺麗な個室ですが、鍵のかった壁面収納の扉を開けると、中から分娩に必要な



な機器が出てきます。分娩時にはベッドが分娩台に変身します。分娩が終わるとまた普通のベッドに戻ります。ちなみに、当院のLDRにはテレビ、冷蔵庫、シャワー、トイレ、洗面台、ソファベッドが備え付けられています。なお、LDR使用料として個室差額料金が必要となります。

最近ではLDRを備えた病院が増えています。当院にもLDRがあることを皆さんに知って頂けたら、と思い今回紹介させて頂きました。当院では妊婦や褥婦に対する助産師のサポートもとても手厚いです。当院の分娩数が少ないならでのことではありますが、助産師がたくさん関わってくれることにより患者さんも安心できるし、当科としても自慢できることだと思えます。これから出産予定の方、ご家族やご友人が出産予定の方、当院のLDRも分娩場所の1つとして検討してみて頂けるととてもうれしいです。産婦人科スタッフ皆でお待ちしています。





## 感染制御対策室

院内感染は患者さんおよび医療従事者が病院内で起こる感染症をいかに未然に防ぐかがとても重要です。感染制御対策室では、病院で医療ケアを受けている患者さんや家族と、医療業務を担う医療関係者が、医療関連感染（院内感染）に罹患することを制御するため、エビデンス及びガイドラインに基づいた対策や院内感染サーベイランス（調査監視）による評価を組織的に行っています。具体的には、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、事務員の多職種で構成される感染対策チーム（ICT）で院内感染の発生動向の見張りや病院内各部署へのICTラウンド、

薬剤耐性菌や手指衛生サーベイランス、ワクチンプログラムの実施などを行っています。また、近隣施設の感染対策チームとも連携し感染対策に関する相談や定期的なカンファレンスの開催、相互ラウンドの実施も行っています。

薬剤耐性率の減少、そしてそのための抗微生物薬使用量の減少を目標として、2016年に薬剤耐性（AMR）対策アクションプランが厚生労働省より策定されました。それにとまない、抗菌薬適正使用支援チーム（AST）を組織し、ASTラウンドや抗菌薬使用量サーベイランス、抗菌薬治療に関する院内勉強会を実施しています。



## 東6階病棟

東6階病棟は、眼科、耳鼻咽喉科、歯科・口腔外科、腎臓内科、膠原病内科、糖尿病・内分泌内科の混合病棟です。手術目的の短期入院の患者様と、内科の治療のため長期入院の患者様が入院されています。

手術をする患者様に対し、手術が安心して受けられるよう、丁寧な説明に心がけています。腎臓内科は透析導入目的、膠原病内科は薬物コントロール目的等での1～2ヶ月の長期入院となることもあるため、入院による不安やストレスが軽減できるよう関わっています。糖尿病・内分泌内科は病気の治療の他に糖尿病の教育入院（2週間）も行っています。糖尿病看護認定看護師、糖尿病療養指導士が主となり、退院後も治療が継続できるよう一緒に考え支援

しています。

多くの科がありますが、それぞれの病気にあった看護を提供しているよう、医師・薬剤師・栄養士・リハビリテーション科・ソーシャルワーカーと協力しながら関わっています。



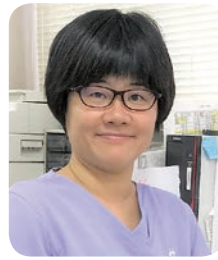
# トピックス

## 認定看護師の紹介

### 慢性疾患看護専門看護師

大澤 栄実

慢性疾患を有する患者さんは、長きにわたり疾患とつきあい、病状が安定するよう生活を調整することが求められます。特に新たな治療が加わり、注射器や医療機器を持ち帰ることになると、患者さんは、生活のしづらさを感じる場合があります。私たち看護師は、患者さんがのぞむ生活と治療が両立できるように支援する役割があります。実際には、どう支援すればよいかチームで検討しながら実践してい



ます。専門看護師は、このような場面で患者さん、看護師の相談をうける看護師です。

日頃は内分泌・循環器内科の外来におります。主に「糖尿病」で通院されている患者さんに、透析にならないように、透析になっても困らないように面談をしています。『治療に生活を近づけていく』という視点だけでなく、『生活に治療を近づけていくために工夫していく』という視点を持って、少しでも患者さんに今の生活を楽しくしてもらいたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。



### 糖尿病看護認定看護師

坂田 瞳

糖尿病は生活習慣病であり、現在日本における糖尿病患者数は328万人にのぼり、糖尿病疑いや予備軍を含めると約2000万人におよぶと言われていきます。

当院でも乳幼児期から老年期に至るまで多くの患者さまが入院されており、糖尿病をもった患者さまやそのご家族さまに対し、療養生活や治療に対する相談や支援をおこなっています。

私は、糖尿病看護認定看護師として、患者さまを「糖尿病をもちながら生活する人」と捉え、その人らしく健やかな生活が継続できるよう、生活習慣の



改善や合併症の発症・悪化を防ぐとともに、患者さまが糖尿病と上手につき合いながら生活していけるように療養支援することを心掛けています。

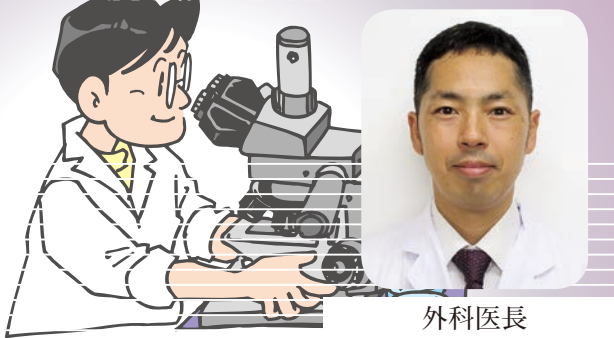
また、糖尿病の合併症の1つである糖尿病足病変から患者さまの足を守るために、看護外来としてフットケア外来をしています。患者さまの足の状態に合わせて医師の指示のもと処置をおこない、家でも手入れが実施できる方法をお手伝いしています。

これからも、より専門的な質の高い糖尿病看護ができるよう、また糖尿病看護の喜びを実感できる看護体制を築いていきたいと思ひます。



# 医療最前線

## 治療のキモは？ ～肝臓の手術について～



外科医長  
末永 雅也

肝臓はその名の通り、からだを維持するためのキモです。1kg以上とからだの中でも最も大きな臓器で、胆汁という消化液を作ったり、栄養を蓄えたり、有害物質の解毒作用をおこなったりと、たくさんの働きをしています。肝臓には肝細胞がんのほか、胆管がんや違う場所のがんからの転移性肝がんなどの腫瘍が発生することがあり、手術が最良の治療法となる腫瘍が多くあります。当院は日本肝胆膵外科学会の定める、県下15施設の認定施設の一つであり、多くの肝臓の手術をおこなっています。

肝臓の手術としては、肝臓を4つの区域に分けたうちの1つないしは2つを切除する大きな範囲の肝切除から、部分切除という最小限の範囲の切除までいろいろな術式があります。大きな範囲の肝切除術は、大きな肝細胞がんや大事な血管の近くの腫瘍である場合に必要となります。患者さんの肝臓の機能にもよりますが、全体のおよそ70%程度まで安全に切除することが可能です。当科では、手術前の画像シミュレーションから大事な血管の解剖を入念に確認し、患者さんの肝機能検査の結果と残る肝臓の体積から安全に手術が可能かを計算して手術を施行しています。肝臓は一度切除しても肥大する能力があるために、手術の後はある程度機能は回復します。一方で、前述のように肝臓の機能が足りなくなるとからだを維持できなくなってしまいます。よって、当科では病気を治すために必要かつ最小限で、最も安全性が高くなる術式となるように手術を計画して

おり、病状と肝臓の機能によっては部分切除術を選択します。

当科では年間に30から40人ほどの患者さんが肝切除術を受けておりますが、そのうちの10%ほどの患者さんは再肝切除術、つまり2回以上の肝切除術を受けられる患者さんです。もちろん、一度しか肝臓の病気が起こらないに越したことはないのですが、肝硬変などの病気が背景にあると、年月を経て新しい肝細胞がんが別の場所にできることがあります。また、がんの種類によっては肝臓に複数回の転移性肝がんを発症することもあります。肝臓は肥大する力があるので、2回目、3回目の腫瘍でも治療のためであれば手術治療を考えていくことができます。もちろん、2回目以降は肝臓の機能にいつそうの注意が必要であったり、前回の手術の癒着があることから高い技術が要求されます。当科では常にそのような状況を想定して、毎回必要かつ最小限の肝切除術を丁寧におこなうことや、癒着の影響を減らせるように癒着防止剤を使用するなどの工夫をしています。また、近年は腫瘍の大きさや場所が条件を満たせば腹腔鏡下肝切除術といってカメラを用いた小さな傷でおこなう肝切除術も導入し、手術によるからだの負担や癒着の軽減に努めています。

さて、肝臓の病気をより確実に負担の少ない方法で治療するためには、早期発見が重要となります。また、肝細胞がんは肝炎や脂肪肝などでダメージを受けた肝臓に発症することから、その予防も重要です。腫瘍の性質や大きさ、数によっては手術治療以外の内科的治療が最良の治療となることもありますので、当科と消化器内科では診断や治療で密に連携して診療にあたっています。当院は日本肝臓学会の定める認定施設になっており、3名の肝臓専門医がおります(消化器内科 島田昌明先生、平嶋昇先生と外科 末永)。また、今月、最新鋭の肝臓超音波装置を2階の超音波検査室に導入し、臨床検査科とも協力して肝疾患の適切な診断に努めております。健康診断や通院されている診療科の検査で肝臓の異常を指摘された際には、遠慮なくご相談ください。





院長 今井 常夫

## 東名古屋病院

当院は、1968年まで梅森光風園という名前の結核療養所でしたが、東名古屋病院と名称を変更した後の50年間に病院の役割を大きく変化させてきました。現在は神経難病を中心とする脳神経内科疾患、結核・非結核性抗酸菌症などの呼吸器疾患、重症心身障害児(者)医療の政策医療と、脳神経外科、整形外科を中心とする回復期医療、さらに、外科・泌尿器科・血液腫瘍内科・循環器内科・消化器内科・耳鼻いんこう科・皮膚科・歯科口腔外科などの一般診療を行っています。どの科も専門医師による診療などにより質の高い医療を提供していると自負しております。結核は愛知県最終拠点病院として、神経難病は愛知県神経難病医療ネットワーク協力病院としての役割を担っており、名古屋市東部のみならず愛知県全域さらには周辺自治体まで診療圏としてカバーしております。また、名古屋医療センターなどの急性期病院との連携を推進し、急性期を脱した患者さんの受け入れを積極的に行っております。さらに当



リハビリテーションセンター



ロボットスーツHAL

院から在宅復帰された患者さんおよび連携している福祉施設からの救急患者さんの受け入れも行ってあります。これからの回復期医療の推進のため、回復期リハビリテーション病棟に加え2018年4月から地域包括ケア病棟(32床)を開設し在宅復帰を目指した医療を実践しております。

当院のリハビリテーション部は70名を超えるスタッフを擁しており、神経難病の患者さんを対象としたロボットスーツ(HAL)の導入など最先端リハビリも実践しております。

特殊な疾患を対象とした医療ばかりでなく一般医療も幅広く提供しております。名東区医師会はじめ地域の連携医師はもちろん遠方からの紹介も歓迎いたします。どうぞお気軽に受診してください。今後も地域の皆様に信頼していただける東名古屋病院を目指してまいります。

### 独立行政法人 国立病院機構 東名古屋病院

所在地：〒465-8620 名古屋市名東区梅森坂五丁目101番地

電話：052-801-1151

F A X：052-801-1160

受付時間：8:30~11:00(平日のみ)【救急受付随時】

U R L：<https://higashinagoya.hosp.go.jp/>



外来診療担当表

Table with columns for Department (診療科), Month (月), Day (火), Water (水), Wood (木), Metal (金). Rows include Internal Medicine (内科) sub-sections like 消化器内科, 呼吸器内科, 循環器内科, etc., and 総合内科.

※総合内科受診希望の方で紹介状をお持ちでない場合は、月・火・水のいずれかでご来院ください。木・金は予約のみ。

Table with columns for Department (診療科), Month (月), Day (火), Water (水), Wood (木), Metal (金). Rows include 禁煙外来(2階), 緩和ケア内科(2階), 腫瘍内科(2階).

※腫瘍内科では、担当医以外にも当番医が静脈路確保、アレルギー対応などを行っています。

Table with columns for Department (診療科), Month (月), Day (火), Water (水), Wood (木), Metal (金). Rows include 内視鏡室(2階) for 消化器 and 呼吸器.

Table with columns for Department (診療科), Month (月), Day (火), Water (水), Wood (木), Metal (金). Rows include 精神科(2階).

※初診は月・水・木・金のみ、予約制となります。

Table with columns for Department (診療科), Month (月), Day (火), Water (水), Wood (木), Metal (金). Rows include 脳神経外科(2階).

Table with columns for Department (診療科), Month (月), Day (火), Water (水), Wood (木), Metal (金). Rows include 外科(1階).

※ストマ外来... 火曜1・2・3・4週 ※中山胃腸科、秋原医師の心臓血管外科は特別診察室で行います。

※末梢血管外科は完全予約制です(13:30~15:30)。

◎外来受付時間 ○初診/午前8時30分~午前11時 ○再診/午前8時20分~午前11時

◎林診日 土曜、日曜、祝日、年末年始(12/29~1/3)

◎担当は都合により予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

Table with columns for Department (診療科), Month (月), Day (火), Water (水), Wood (木), Metal (金). Rows include 整形外科(1階).

Table with columns for Department (診療科), Month (月), Day (火), Water (水), Wood (木), Metal (金). Rows include 皮膚科(3階).

Table with columns for Department (診療科), Month (月), Day (火), Water (水), Wood (木), Metal (金). Rows include 小児科(3階) for 午前 and 午後.

Table with columns for Department (診療科), Month (月), Day (火), Water (水), Wood (木), Metal (金). Rows include 遺伝診療科(2階).

※遺伝診療科及び遺伝カウンセリングは完全予約制です。＊カウンセリング予約枠:月曜1枠(13:00-14:00)、木曜2枠(13:00-14:00、15:00-16:00)

Table with columns for Department (診療科), Month (月), Day (火), Water (水), Wood (木), Metal (金). Rows include 耳鼻いんこう科 頭頸部外科(3階).

Table with columns for Department (診療科), Month (月), Day (火), Water (水), Wood (木), Metal (金). Rows include 眼科(3階).

Table with columns for Department (診療科), Month (月), Day (火), Water (水), Wood (木), Metal (金). Rows include 産婦人科(3階).

※本曜の診察は、手術がある場合は1診対応となり、どちらかの医師の診察となります。産婦1ヶ月健診は、全曜日に行います。

Table with columns for Department (診療科), Month (月), Day (火), Water (水), Wood (木), Metal (金). Rows include 泌尿器科(3階).

Table with columns for Department (診療科), Month (月), Day (火), Water (水), Wood (木), Metal (金). Rows include 血液内科(3階).

※LTFU:造血幹細胞移植後外来

Table with columns for Department (診療科), Month (月), Day (火), Water (水), Wood (木), Metal (金). Rows include 専門外来(3階).

Table with columns for Department (診療科), Month (月), Day (火), Water (水), Wood (木), Metal (金). Rows include 歯科口腔外科(3階).

Table with columns for Department (診療科), Month (月), Day (火), Water (水), Wood (木), Metal (金). Rows include 放射線科(地下1階).

Table with columns for Department (診療科), Month (月), Day (火), Water (水), Wood (木), Metal (金). Rows include 放射線科(1階).